

週報

Weekly Report

RI テーマ
奉仕を通じて平和を

2012-2013 年度
国際ロータリー会長 田中作次

国際ロータリー第 2720 地区 **熊本南ロータリークラブ**
Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

例会日 / 毎週月曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場 / 〒860-8536 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内
 創立日 / 昭和 33 年 9 月 1 日 (承認 昭和 33 年 11 月 24 日)
 会長 / 浅山弘康 幹事 / 漆島典和 クラブ広報委員長 / 吉原コウイチ
www.kumamoto-southrc.org

第21 例会記録(通算第 2549 回)

平成 24(2012)年 12 月 17 日

斉唱 国歌 君が代
 ロータリーソング「我等の生業」

来訪者紹介

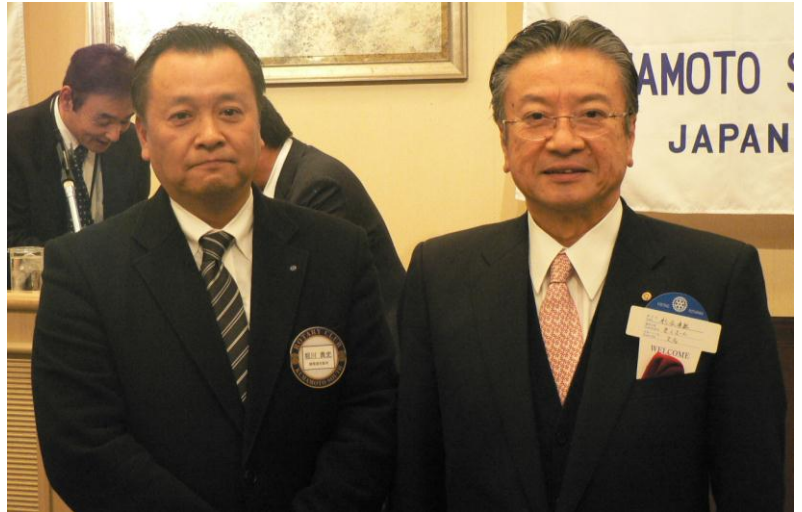
井手眞司 様 (熊本市動物愛護センター愛護係長)
 玉名RC 杉谷卓紀パストガバナー

会長報告(浅山弘康君)

本日の例会は所用のため決席、週報での報告に変えて頂きます。今年最後の例会となります。
 改めまして、無事、今年を終わらせていただきますことに対しまして御礼を申し上げます。2012~2013 年度の熊本南ロータリークラブの目標として「楽しいロータリークラブ」を掲げ、活動を行ってまいりましたが、各委員会に対し、多大の協力を頂きましたことに深く感謝申し上げます。引き続き、来年も「楽しいロータリークラブ」を目標に活動してまいりますので、どうぞよろしくお祈りを申し上げます。
 来年がすばらしい年になりますよう祈念いたします。
 ご協力、本当にありがとうございました。

幹事報告(漆島典和君)

12月10日付けで事務局二村さんが退職いたしました。
 付きましては、年末年始の業務は古財夫人にお願いします。
 会員の皆様には何かとご迷惑をお掛けしますが、緊急の際は幹事漆島までご連絡下さい。



杉谷パストガバナー、RI 理事ご就任おめでとうございます！

今日の例会

- 今日の歌
- 来訪者紹介
- 会長・幹事・各委員会報告
- 会員卓話 田川憲生君

今月・来月の行事

- 1/25~27 台北大同扶輪社 熊本県経済観光交流促進レセプション
- 1/28 会員卓話 藤見泰之君
- 2/4 会員卓話 寿崎PG
- 2/25 外部卓話 薄井良文様 (阿蘇広域消防本部)

例会変更のお知らせ

- 菊南RC
 家族会の為、時間変更
 [変更前] 1月23日(水) 12:30~
 [変更後] 1月23日(水) 18:30~
 [場 所] ユウベルホテル
- 西南 RC
 新春家族会の為日時変更
 [変更前] 1月17日(木) 12:30~
 [変更後] 1月18日(金) 18:30~
 [場 所] ニュースカイ
- 西南 RC
 定款に基づき休会
 [日 時] 1月31日(木) 12:30~

出席報告(現王園敏伸君)

会員数	出席数	出席率	前々回 修正出席率
62名	39名	66.10%	83.93%
出席規定適用免除者 8名		欠席記録免除者 0名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

委員会報告

○姉妹クラブ委員会(山本円君)

平成25年1月25日台北ホテルオークラでの熊本県レセプションのご案内

○親睦活動委員会(三角雄介君)

平成25年1月15日新年会のご案内
オークション品は三角委員長まで連絡または当日持参

○職業奉仕委員会(久峨章義君)

本日の職場訪問のご案内(九州クラフト工業)

スマイルボックス(坂本研一君)

○玉名 RC 杉谷卓紀君 II

久しぶりにお邪魔させていただきます。今日は2014～16年度国際ロータリー理事に選出されましたので、姉妹クラブであります熊本南 RC にご報告に参りました。

○浅山弘康君・漆島典和君・塩井泰明君

本日の卓話者、井手眞司様に心から感謝します。
当クラブの来訪者、玉名 RC の杉谷卓紀パストガバナーを歓迎いたします。

○寿崎肇君

杉谷パストガバナーが国際ロータリーの理事に就任いたします。RI 理事は第 2720 地区の誇りであり、スポンサーをさせて頂いた熊本南 RC として大変名誉なことです。心からお慶びを申し上げます。おめでとうございます。

○杉田辰彦君・淵田俊郎君

杉谷 PG のご来会に感謝致します。RI 理事就任も重ねておめでとうございます。

○渡邊秀章君 II

熊本市動物愛護センター「ハローアニマルくまもと市」の井手眞司様のご来訪を心から歓迎します。1匹、1頭でも多くの動物の命を守る活動のお話をどうぞよろしくお願います。

○野口泰則君

杉谷パストガバナーのご来訪を心より歓迎します。RI 理事も大変おめでとうございます。

○濱田定勝君

杉谷パストガバナーのご来訪を心から歓迎いたします。

○坂本研一君

本日は職場訪問にお越しいただきありがとうございます。小さな町工場です。服にインキがついたらごめんなさい。よろしくお願います。

○園田修司君他31名

坂本幸樹君の入籍おめでとう！のスマイルです。

○塚本 侃君

今日は所用のため早退します。お詫びのスマイルです。

○渡邊秀章君

先週12月14日(金)九州のフレッツ光のご契約が150万回線を突破しました！ひとえに皆様方のご愛顧のお陰です。熊本県内では現在17万 8,000 回線と、18 万まであと少し。来週 21(金)には交通センター横の弊社ビル前において夕方から第一高校合唱部による「クリスマス光のコンサート」を行います。Ustream でネット中継もしますのでどうぞご覧ください。

外部卓話(渡邊秀章君)



熊本市健康福祉子ども局
生活衛生課 動物愛護センター
技術主幹兼愛護係長
井手眞司様

熊本市動物愛護センターの 「殺処分ゼロ」に向けた取り組みについて

日本では約 2,100 万頭の犬・猫がペットとして飼われています。現在の日本における 15 歳未満の子どもの人口は約 1,665 万人であることから、現在では子どもの数よりペットの数の方がはるかに多い現状にあります。ペットの役割も変わり、昔は番犬やネズミ捕り役として飼われていた犬・猫が、現在では家族の一員として家の中で人間と一緒に生活するようになってきています。

しかしその一方で、全国で毎年 20 万頭以上の犬・猫が飼い主の飼育放棄等の理由により現在殺処分されています。熊本市動物愛護センターでも、平成 13 年度までは毎年 1,500 頭以上と多くの犬・猫が殺処分されていました。

しかし、平成 21 年度には犬 1 頭、猫 6 匹の計 7 頭の殺処分に止まり、限りなく殺処分「ゼロ」に近づきました。この成果は、センター職員の殺処分を減らしたいという思い・努力もありますが、行政の力だけで達成できるものではありません。市獣医師会や動物愛護団体、ペット業者等から構成される熊本市動物愛護推進協議会、動物愛護推進員等の市民ボランティアの方々の力と支えがあったからこそできた結果です。

市全体での動物の適正飼養の徹底を図るためには、官民一体となった施策が必要です。そこで、平成 14 年に熊本市動物愛護推進協議会を推進母体として設立し、殺処分「ゼロ」を目指すために「お互いが目指す理想」、「実際の問題点」、「問題に対し自分たちができること」等について何度も検討を重ねてきました。このことにより平成 14 年度以降、殺処分を減らすために熊本市動物愛護センターでは大きく分けて3つの取組みを行っています。

(1) 返還率向上への取組み

飼い主がいる可能性がある犬・猫について、法に基づき役所等の掲示板に文字による掲示をしていましたが、平成14年から市ホームページに写真つきで掲載するようになりました。このことにより、それまでは10%台であった犬の返還率が現在では50%近くになり大幅に向上しました。

また、万が一ペットの犬・猫が迷子になってもすぐに飼い主の元に戻れるよう、熊本市動物愛護推進協議会と協働で平成21年度から「迷子札をつけよう100%運動」も展開しています。

(2) 譲渡率向上への取組み

犬については、それまで譲渡が進まなかった成犬(大人の犬)に対し、職員が馴致訓練やしつけの再教育を行うようになりました。家庭犬として譲渡できる状態にまですることで、新しい飼い主にもらわれるようになり、譲渡率が向上しました。猫については、収容される猫のほとんどが生後間もない乳飲み子であり、授乳等の世話が困難なため、やむなく殺処分していましたが、平成19年度から市民ボランティアの方が乳飲み子を中心に引き取り、自ら新しい飼い主を探す活動を始めました。現在ではセンター職員も有志で乳飲み子を夜は自宅に持ち帰り、大きくして譲渡するようになり、犬と同様に譲渡率が向上しています。

(3) 飼い主からの安易な引取り依頼への取組み

飼育に不都合や負担が生じ飼えないからという理由で殺処分を依頼してくる飼い主に対し、命の大切さや動物を飼うことの責任等について説明を行い、飼育継続や新しい飼い主探しを行うよう粘り強く話を行っており、殺処分数が減少しています。

上記(1)～(3)以外にも、子どもを対象に小学校等を訪問する「動物ふれあい訪問教室」を平成21年度から開始しており、犬とのふれあいを通じて命の大切さやペットを飼う責任の重さに気づき、将来動物を飼った際最後まで面倒をみてもらうことを約束してもらっています。

また、「飼い主になろうとする者の責務」や「猫の飼い主への努力義務」を設けた「熊本市動物の愛護及び管理に関する条例」が今年度から施行開始され、この条例を基に今後も動物を飼う人飼わない人が共に心地よく暮らせる町、人と動物とが共生できる社会の実現を目指します。

ロータリー財団地域セミナー(ゾーン1・2・3)について報告



(パストガバナー 寿崎肇君)

2012年11月26日(月)10時から17時までロータリー財団セミナーがありました。27日から29日まで第41回ロータリー研究会が東京台場で行われました。ロータリー研究会については「ロータリーの

友」に記載されるとのことです。

各種の報告の項目や第1セッションから第6セッションまでのテーマを報告し、ロータリー財団についての報告を主にいたします。第41回ロータリー研究会は28日8時30分から開会式で開会宣言、点鐘、国歌斉唱、開会挨拶、来賓紹介、基調講演は日本で30年ぶりにR1会長になられた八潮RCの田中作次氏が行い、続いて、ロータリー財団管理委員長カナダ・トレントンRCのウィルフリッドJ.ウィルキンソン氏が行い、表彰。続いて「ポリオ・プラスの最新情報」「綱領翻訳問題検討委員会その後」の報告。韓国出身のR1理事による「R1理事会近況報告」があり休憩。昼食まで「インドのロータリー活動。会員増強、R財団、ポリオ」「ロータリー財団の報告」「R1事務総長報告」「東日本大震災復興基金日本委員会報告」「ロータリー日本財団の動向」「ロータリー米山記念奨学会報告」「ロータリーの友の現状」昼食後「リズボン国際大会」(これは田中R1会長の年度です。是非とのお話でした。)

続いて、セッション1「新しい財団6つの重点目標がもたらす奉仕の新局面」は6人のモデレーターとパネリストで行われました。休憩の後「ロータリーの持っている力」と題し元R1理事で第2720地区大会へR1会長として臨席しました今井鎮雄氏のお話。休憩後、セッション2「東日本大震災復興支援活動は今」4人の方々のお話でした。18時30分から希望晚餐会で第1日目は終了。

第2日目は8時30分より「ロータリー世界平和フォーラム広島」が2013年5月17日(金)・18日(土)の2日間広島国際会議場で行われます。発言は主に若い人。インターアクター、ロータリーアクターを多く出席させるようにと。セッション3「飛躍的な会員増強と強固な会員維持のために」情報の風を起こし全ロータリアンの力を集約しようとする4人の方々のお話でした。セッション4「R1の戦略計画は何処までクラブを活性化できるか」3人の方々のお話でした。昼食後セッション5「規定審議会立法案についての討議」は4人のパストガバナーの方々。セッション6「中核となる価値観を議論しよう(多様性、高潔性、親睦)」オープンフォーラムに続いて閉会式、17時30分点鐘で終了しました。

ではロータリー財団地域セミナーの報告をいたします。

- ・10時開会宣言 主催挨拶と来賓紹介。松宮R1理事挨拶は日本出身30年の田中作次R1会長のお話のようにR財団について日本がお手本になるようにして頂きたい。
- ・千玄室R財団日本財団理事長挨拶。日本財団が公益財団法人に認定されました。岩井前理事長のご努力に感謝いたします。私も早く公益法人認定を希望しており、大変嬉しく思います。納税について有利になり、この思想は米国に近づきます。有利からのスタートを切りました。納得の上ご支援の程よろしく願いいたします。
- ・江崎柳節財団管理委員は「2012年-13年度財団年度目標と期待」と題して
①ポリオ撲滅 ②未来の夢計画の準備を整える

③財団の教育プログラムと人道的プログラムの参加を通じて世界の平和を育む ④ロータリー財団の寄附を前ロータリアンに願う。1人100ドルを公益法人化で150ドルへ

・川妻二郎平和フォーラム広島ホスト委員長

「2013年ロータリー世界平和フォーラム広島について」

田中R1会長のテーマは「奉仕を通じて平和を」です。具体的な活動の一環としてR1はベルリン・ホノルル・広島の3都市で開催します。広島では「平和はあなたから始まる」をテーマに新世代に焦点を当て、国内すべての地区からローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、国際親善奨学生学友、米山奨学生など多様な新世代を参加者に迎えロータリアンと共に「平和への日常的な意識と行動の種火に点火し、次の時代に行動を引き継いでいく出発点とすることを目指します」開催日は2013年5月17日(金)～18日(土)場所:広島国際会議場 5月17日は午後2時より終了は5月18日午後4時まで。

・金杉誠R財団委員『「エンド・ポリオ・ナウ」の成果と今後』

ポリオへの寄附合計15億ドル、今後3年間で7500万ドル投入。数十万人のボランティアを動員。100万人以上のロータリアンの参加。R1世界予算の12%。民間寄附51%。ロータリアンとパートナーで20億を越す子供への予防接種。700万人以上の子供が歩行可能に。毎年65万人が感染を免れる。ポリオが99%減世界から。ポリオのない国1998年10%(12ヶ国)2012年ポリオのない国90%へ。

インド、アフガン、パキスタンは激減。ナイジェリア心配。

ポリオ発症国125ヶ国が今は3ヶ国。1人当たりワクチン60セント(50円) 約束の2億ドル、達成2.29億ドルお礼。

日本は1400万ドル、この達成で2720地区は表彰。

・黒田正広元R1理事(恒久基金日本委員長)「恒久基金の成果と今後」恒久基金の投資と利用について、元金の維持成長ははかられております。利回りは15年平均で4.10%です。2011-12年、恒久基金寄附は1位米国、2位インド、3位日本、4位台湾、5位韓国、税優遇の米国インド。日本も公益法化で少なくとも2位でしょう。恒久基金の目標は2025年10億ドル。2012年6月30日現在7.5%。日本の恒松基金寄附推進目標は2012-13年度、1人10ドル。ベネファクターをクラブ毎に1～2人へ。冠名寄付者地区で2～5人へ。恒久基金R1、2720地区(第3ゾーン)の委員長は杉谷パストガバナー。

・パネル討論「フューチャービジョン推進と残る懸念の解消に向けて」

・モデレーション江崎柳節R財団管理委員 プログラムと手続きの簡素化をはかり、ロータリアンの奉仕活動に焦点を当て、地元と海外の両方の活動へ重点をおき、地域とクラブへの載量を強め、資金の可視性と透明性など1万4千名の意識調査で方向性を見出しました。

・パネラー田嶋好博2760地区パストガバナー。全国での「新地区補助金に関するアンケートの結果」

回答数34地区中26地区あり、新地区補助金の支給対象として

①地区が選定した事業に支給するが18地区。

②申請のあった事業の全てに支給するが6地区。その他の地区。

③新地区補助金の配分方法で先着順1事業当り1万ドルまで。とか予算が枯渇するまで申請を受付ける。

など18項目ありました。R1第2760地区の例として、この2012-13年度新地区補助金15万5392ドルを59RCに分配。社会奉仕事業に12RC。文化スポーツ支援に10RC。教育支援に7RC。東日本大震災復興支援に9RC。弱者障害者支援に7RC。緑化支援4RC。医療器具支援1RC。海外社会奉仕支援9RC。でした。最後に今後予想されるトラブルの話はロータリーの禁止していることや、不正に近いことは行わないようにして下さい。とのことでした。

・パネラー古宮誠一R財団管理委員。グローバル補助金についてR財団の6つの重点分野。

①親善と平和 ②教育識字率向上

③貧困の緩和 ④疾病予防

⑤水と衛生設備 ⑥母子の健康

これら重点分野は3年毎に見直す。2010-11年度実績で、グローバル補助金プロジェクトとDDFの支援先

①平和と紛争予防で日本のRCとワシントンDCRC(これは日本の第1号)の5万5千ドル

②東京北RC。タイの水プロジェクトに18名参加(2580地区と3300地区)1万5千ドル。

・パネラー深谷裕尋(奨学生出身の方)「職業研修チーム派遣実例について」

①オーストラリア・ブリスベンへの疾病予防と治療について派遣。リーダーはロータリアンで医師団員4名の内、大学院生2人、日赤1人、がんセンター1人。

②直面した課題や問題点

イ、GSEとVTTの違い

ロ、相手国のレスポンスが遅い

ハ、6つの重点分野の絞り込み、もっと理解を解決の道として6つの重点分野の正しい理解でありガバナーの協力不可欠。特にガバナーエレクトが国際協議会出席の折GSE、VTTについて相手国のガバナーエレクトと十分話し合ってもらおう。

最後はオープニングフォーラムでしたがよく聞き取れませんでした。感じとしては提案もあり、勉強不足を痛感いたしました。新地区補助金で2720地区トップの利用RCが熊本南RCになれると良いなと思いました。もっと勉強します。ありがとうございました。